令和４年は大河津分水 通水100周年

令和4年度
信濃川・魚野川総合水防演習
未来へつなげ 地域のチカラ

緊急速報メール
10時40分頃
訓練のため燕市及び長岡市、見附市、弥彦村、新潟市(南区・西蒲区・西区)に緊急速報メールが発信されます。予めご了承ください。

令和4年 6/5 日

新潟県燕市五千石地先
（大河津分水路右岸 大河津可動堰上流）
8:30～11:50（予定）**入場無料**

オープニングセレモニー 8:30～ 演奏：分水太鼓、新潟県警察音楽隊

演習内容
情報収集　水防工法　救援物資輸送　応急復旧工
ライフライン復旧　救難救助

展示・体験コーナー　パネル・災害対策車両展示、土のう作り・土のう積み体験
流速体験、防災学習コーナー など

ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症対策のためお手持ちのスマートフォンに**接触確認アプリ「COCOA」**及び**新潟県新型コロナお知らせシステムLINEアプリ**のダウンロードをお願いいたします。

新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA　Android　iPhone
LINE 新潟県新型コロナお知らせシステム

会場案内図

大河津分水通水100周年
2022年、大河津分水は、通水100年を迎えます

公式 Twitter 配信中 @mlit_shinano

LIVE 演習の様子を信濃川河川事務所のホームページでライブ放送します!

主　催　燕市、新潟県、国土交通省北陸地方整備局、信濃川・魚野川水防連絡会

お問い合わせ　信濃川・魚野川総合水防演習運営委員会
事務局：国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所　〒940-0098 新潟県長岡市信濃 1-5-30　TEL:0258-32-3020　https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/

令和４年度
信濃川･魚野川総合水防演習

プログラム

※訓練内容や展示･体験の内容を変更する場合があります。

自然災害は、いつ、だれの身に起こるか、わからないもの。万が一の備えが大切です。
総合水防演習は、水災害に備えて各機関の連携体制と防災技術の向上を図るために行う実践さながらの訓練です。

大河津分水 通水100周年
大河津分水通水100周年ロゴマーク

2022年、大河津分水は通水から100周年を迎えます

古くは江戸時代から200年の間、水害に悩む越後平野の人々にとって、水害から逃れるための切り札として大河津分水は熱望されていました。この悲願が実現したのは明治42年（1909年）。この年から大河津分水工事は、政府の直轄工事として本格的に始められ、15年の歳月と延べ1,000万人の人出を費やし、大正11年（1922年）に通水しました。それ以来、100年間にわたって大河津分水は信濃川の洪水を海に流し続け、越後平野を水害から守ってきたのです。

8:30 オープニングセレモニー
演奏：分水太鼓、新潟県警察音楽隊

9:00 開会式

9:30 演習想定

主な演習内容

水防工法訓練

若手消防団員の水防技術の研鑽・伝承のため、信濃川・魚野川の流域特性にあった水防工法の実施

木流し工

シート張り工

月の輪工

積み土のう工

改良積み土のう工

避難訓練

逃げ遅れゼロを目指し、住民及び要配慮施設など関係者が一体となったタイムラインに基づく訓練の実施

住民避難

避難所受入

避難所支援訓練

沿川住民、企業等の参加による避難所ライフラインの確保訓練の実施

水道管復旧

電気復旧

救難救助訓練

広範囲の水没被災を想定し、各機関が連携した救難救助訓練の実施

ロープブリッジ救助

ヘリコプターによる吊り上げ救助

11:40 閉会式

体験・展示コーナー

9:30～11:30 展示コーナーで楽しく体験・学習 災害に対する知識を学ぼう!

防災学習

災害対策車両展示

土石流模型実験

豪雨体験

土のう作り･土のう積み体験

流速体験

協　賛　全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、(公財)新潟県消防協会、(一財)河川情報センター、(一財)日本建設情報総合センター、(一社)北陸地域づくり協会

後　援　新潟日報社、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、日刊建設工業新聞社北陸総局、(株)北陸工業新聞社新潟支局、新潟建設新聞(日本工業経済新聞社新潟支局)、(株)日刊建設通信新聞社新潟支局、日刊工業新聞社、日刊建設産業新聞社甲信越支社、ＮＨＫ新潟放送局、ＢＳＮ新潟放送、ＮＳＴ新潟総合テレビ、ＴｅＮＹテレビ新潟、ＵＸ新潟テレビ２１、ＦＭ新潟77.5、燕三条エフエム放送

協　力　燕市教育委員会、燕市立分水小学校、新潟県警察音楽隊

演習参加団体　燕市消防団、燕市消防団女性分団 燕さくらファイヤーズ、長岡市消防団、小千谷市消防団、十日町市消防団、津南町消防団、魚沼市消防団、南魚沼市消防団、湯沢町消防団、新潟地方気象台、陸上自衛隊第30普通科連隊、第九管区海上保安本部、新潟県警察本部、燕警察署、新潟県消防防災航空隊、燕・弥彦総合事務組合消防本部、(福) 桜井の里福祉会　特別養護老人ホーム分水の里、燕市大川津自治会、東日本旅客鉄道 (株) 新潟支社、東日本高速道路 (株) 新潟支社、日本赤十字社 新潟県支部、燕市分水地区赤十字奉仕団、(福) 燕市社会福祉協議会、燕・弥彦総合事務組合水道局、燕市管工事業協同組合、(一社) 新潟県建設業協会巻支部、燕市建設業協同組合、(一社) 新潟県測量設計業協会、日本郵便(株)燕郵便局、東北電力ネットワーク (株) 新潟県央電力センター、県央電気工事協同組合、蒲原ガス (株)、(一社) 新潟県LPガス協会県央支部、NPO法人コメリ災害対策センター、セッツカートン (株) 新潟工場、コカ・コーラボトラーズジャパン (株)、オフロードビークル協会、東日本旅客鉄道 (株) 信濃川発電所、電源開発 (株) 東日本支店 小出電力所、東北電力 (株) 長岡発電技術センター、東京電力リニューアブルパワー (株) 信濃川事業所、北陸地方防災エキスパート、燕市、新潟県、国土交通省